



畜産総合センターようじん通信

平成30年6月

◎日本脳炎生ワクチンの接種を開始しました。

当所では、毎年蚊が増加するシーズン前に日本脳炎ワクチンを接種していますが、今年度も5月から接種を開始しました。

つきましては、6月から譲渡個体についても接種していきます。昨年度と同様、譲渡当日接種する場合がありますので、移動後の健康観察にご留意ください。

◇在庫頭数について

W♀

生まれ月	在庫（頭）
11月	12
12月	9
1月	26
2月	27

D♂

生まれ月	精液検査 済み（頭）	精液検査 未実施（頭）
7月	7	1
8月	2	3
9月	10	11
10月	1	14
11月	1	1
12月	—	13

6月1日時点の在庫頭数は上記のとおりです。

L♀、L♂、W♂も多頭数在庫を準備しておりますので、ご連絡いただければ幸いです。

○「H30 愛知のふるさと食品コンテスト」への出品募集について

本県では、県産農林水産物を活用した加工食品の新たな需要を掘り起こし、農林水産物の利用拡大と生産振興に資することを目的として、標記のコンテストを実施しています。技術や味、包装デザインなどを競うものです。

最優秀賞及び優秀賞に選ばれると、入賞者の希望により販売・PRの機会（過去の例：大手スーパー、県産商品販売店等）が提供されますので、加工品製造に取り組んでおられる方はぜひご参加ください。

詳細や応募様式については以下の食育消費流通課HPをご参照ください。

<<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/shokuiku/h30hurusato-boshu.html>>

1 対象

- ・過去に（一財）食品産業センター主催の「優良ふるさと食品中央コンクール」で、農林水産大臣賞を受賞していないもの。
- ・県内で生産された農林水産物を主な原材料に用いていること
- ・3年以内に製品化された加工食品（＝ふるさと食品）

<部門別要件>

ア 新技術開発部門

製造・加工に関する新技術の開発又は実用化を行ったもの。

イ 新製品開発部門

新製品の開発を行い製造・加工を行ったもの。

ウ 県産農林水産品利用部門

製造・加工を通じて、農産物、林産物、畜産物や水産物の原料調達、雇用促進等の面で地域の発展・活性化に功績のあったもの。

2 応募方法

- ・ 指定様式（HPに掲載）を、電子メール、ファックスまたは郵送により食育消費流通課に提出
- ・ 提出期間：平成30年5月1日（火）から6月26日（火）必着

○季節ごとの飼養給餌について

5月後半から気温が30℃を超える日があるなど、初夏が近づいていると感じるようになりました。母豚のボディコンディションや子豚の発育速度に変化を感じている方もおられるかもしれません。そこで今回は、昨年度に実施された日本食肉格付協会による枝肉格付結果の一部をご紹介します。季節に応じた飼養給餌の参考になれば幸いです。

表 H29時期ごとの「中」への格落ち理由(%)

各落ち理由	時期			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
均称・肉づき	23.7	24.6	28.1	26.3
薄脂	22.9	20.5	18.8	20.3
厚脂	48.0	51.4	50.3	49.1
肉の締まり及びきめ・色沢	8.0	7.7	7.8	8.1

※公益社団法人日本食肉格付協会HPより

肥育豚においては、豚舎内の気温が程よく暖かい春先～初夏に育成した個体は、食い込みがいい上に体温維持に必要なエネルギー量も冬季に比べると少ないためか、厚脂による格落ちの割合がやや増加していました。逆に、夏季に差し掛かると暑熱により食欲が低下する個体も多く、均称・肉付き低下の一因となっている場合もあると考えられます。

(連絡先)

◇畜産総合センター

： 0564-21-0201